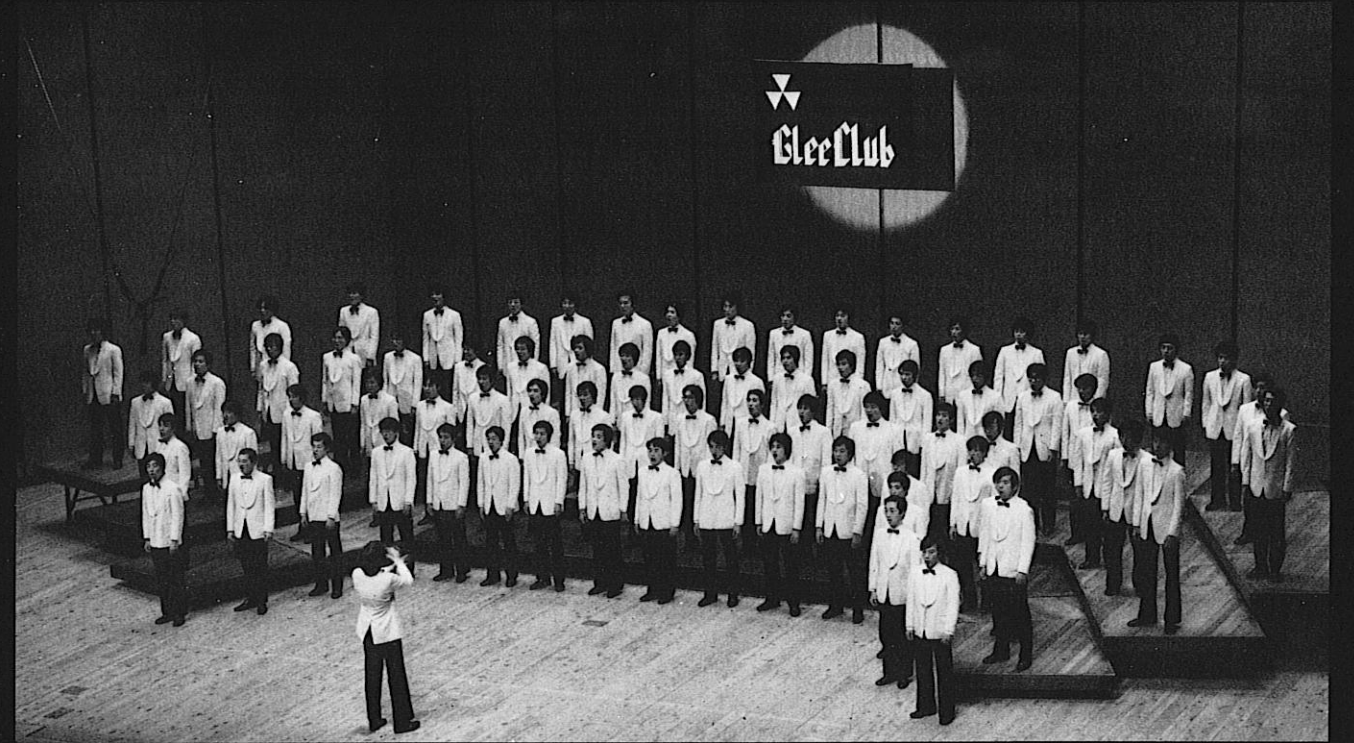
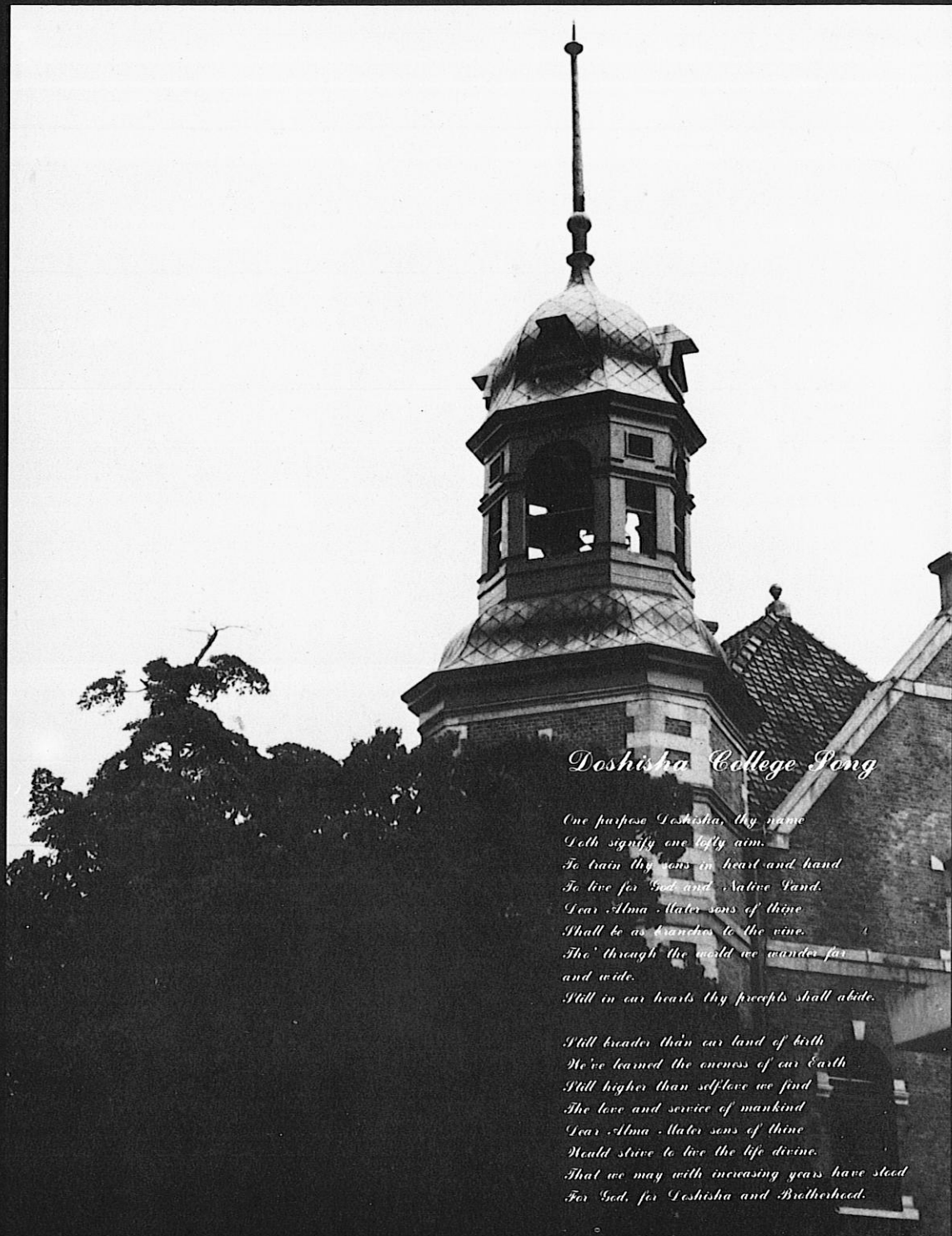


DOSHISHA GLEE CLUB



THE 77th





同志社グリークラブ
第77回 定期演奏会

1982年1月23日(土) 京都会館第1ホール

同志社大学総長 上野直蔵

謹んで新春のお祝いを申し上げます。

今宵、同志社グリーンクラブの第77回定期演奏会が、皆様の暖かい御支援を得て、盛大に開催されますことを心から喜ばしく存じます。

同志社には、学生諸君が相集い豊かな情操を育むため、またより実りある学生生活をおくるため、不断の精進を積んでいる音楽団体が数多くあります。その中でもグリーンクラブは77年もの歴史を持ち、男声合唱としては抜きんでてその演奏が素晴らしく、皆様からご好評を頂いております。演奏活動についていえば、定期演奏会はもとより他大学との交歓演奏会、各地への演奏旅行、最近ではテレビ出演もあり、まことに幅広く音楽を通して人々の心に爽やかな風を送りこむことにも努力を重ねてまいりました。

今宵は合唱音楽をひたむきに愛しこの道に精進してまいりましたグリーンメンが、胸をふくらませ、光を顔にたたえて、日頃の練磨の成果を心ゆくまで歌い、皆様にご満足いただける演奏を披露してくれるものと信じております。

どうか御来場の皆様におかれましては、心耳を傾けていただき、今後とも御指導、御鞭撻のほどお願い申し上げます。

同志社グリーンクラブ顧問 遠藤 彰

今年の定期演奏会は、新島襄先生永眠記念の日と重なった。1889(明治22)年12月、大学設立のための募金運動のさなか病を得た先生は大磯の旅館百足屋で静養中であった。庭に梅の古木があって薄紅の花が寒風の中でほころび始めている。先生は筆をとって五言絶句一首をしたためた。

「庭上一寒梅 笑侵風雪開 不爭又不力 自占百花魁」

そして翌年1月23日先生は永眠されたので、この詩は先生の遺言のうたの一つとなったといつてよい。この詩のちに同志社女子大学の故中瀬古和教授によって作曲され、多くの人々により愛唱されてきたが、私は同志社106年の歴史、そしてまたグリーンクラブ77年の歴史は、このうたの精神によって形造られてきたように思う。

寒梅はりん烈たる風雪の中で開く。他に咲いている花はない。しかも寒梅の開花には些かの力みもなく他からの強制もない。自然な自発と自律によっておのずから凡そ百の花に先んずるのである。同志社に存在する自由の精神的伝統はここに淵源している。グリーンクラブという個性的人間集団の創り出す和音・リズム・旋律の高度な総合美も、やはりここに根源がある。鉄の規律と没個性的なしごきで鑄造される機械的音楽は、同志社においては不可能である。

創部77年度の総決算としての定演が、このグリーンクラブ固有の特色を遺憾なく発揮するものであるように期待し、またメンバー1人1人がそのような人間的充実を経験しつつ歌う喜びを実感してほしいと願っている。

京都府合唱連盟理事長 吉村信良

演奏会シーズンの悼尾を飾ることは、果して得なのだろうか。きょうの同志社グリーの演奏会がすんだらその解答が適確に出てきそうな気がします。と申しますのも、ついこの間、私が京都産業大学で振ったのと同じステージがきょう、同じ第1ホールで演奏されるからなのです。陽ちゃん先生のニグロは、もっとも得意とされる分野のひとつで、過去、私自身ずい分勉強させていただいた陽ちゃんニグロの真髓が聞けそうです。「ことばあそびうた」では、指揮者の芦田くんが変拍子に熱中しすぎて臆しよう炎にかかったとの噂の猛練習の結果がどのように披露されるのでしょうか。そこへ当代若手No.1の富岡先生の全力投球が加われば、ぜいたくな伴奏者群と相俟って、きょうへの期待がいやが上にも増してくるわけです。どう考えても、二週間前の私は、まさに前座を相勤めたのだということになりそうです。

70年の歴史の重みが、若い新しい勢力をがっちり支えている同志社グリー。永い歴史のなかで時には訪れる谷間をじっと耐えぬいて巨大なエネルギーを蓄積し、ここぞというときにぐっと頭角をあらわし、あたりを瞳睨するたしかな強靱さ。ただ、大きな貯えは蟻の一穴からも喰いつぶすことができるのです。いつの世でも、いま息づいている現役諸君は、貯えなき裸一貫からスタートして初心忘れずしっかりと財産づくりをしてほしいと思います。結果として永い歴史を生みつづけた貯えはますます巨大なものになっていくでしょう。100年、200年の歴史を築いていくことになるでしょう。

全国の合唱仲間、あなたがたを、やはり一目も二目もおいて食い入るように眺めているはずです。どうか、いい演奏会にして下さい。

私も心から演奏会のご成功をお祈りします。

同志社グリーンクラブOB会会長 松本寛二

高く広く深く

同志社グリーンクラブの定期演奏会が、今年で77回目だと聞いてびっくりした。ついこの前のことと思っていたのに、何と同志社いやグリーを卒業して早や43年余りもたっているじゃないか。

その私もグリー時代に運よく35周年を迎え、それを特別演奏会と銘うって記念したおぼえがある。それから実に43年もたっているのだからおどろく。もしその時の演奏(何をどう歌ったかも忘れてしまったが)を、いま再現し、そして君たちの合唱を聞いたとしたらどんなことになるだろう。

戦争前の異常な世相の中で何となく遠慮しながらうたった合唱、メンバーももちろん少なかった。しかしそんな中でも、うたえるという喜びと楽しみをいっぱいにして同志社生活をすごせたことは誰にも負けなかったような気がする。

合唱のレベルが高くなり、とくに大学のレベルは今や世界的にも高く評価され、アメリカやお隣の中国はもちろん、音楽のメッカヨーロッパまで演奏に出かけるまでになった。えらい違いである。同志社グリーンクラブにも再びその声がかかっていると聞く。本場のヨーロッパで、同志社グリーのうた声を高く広くそして深く響かせることができたらどんなにすばらしいことだろう。ラッキー“7”が2つもならんだ幸せいっぱいこのきょうの定期が、ヨーロッパ演奏への足がかりとならば……、と思うのは私だけでは決してあるまい。ご成功、ご盛會を祈る。

早稲田大学グリーンクラブ

第77回定期演奏会の御開催に際し、部員一同、心よりお祝い申し上げます。

京都と東京、距離は離れておりますが、東西四連の盟友としてお付き合いを始めてからはや30年。この間、貴グリーの活動は、我々早稲田グリーンメンの大きな関心の的であると共に、我々の合唱への情熱をさらに奮い立たせるものであったようです。そして、様々な価値観を持つ学生が多く集まり、かつ年々部員が入れ替わるといふ宿命を背負いながらも、70数年の伝統に押しつぶされることなく、合唱界において常にトップレベルを維持しておられるその真摯な態度には、尊敬の念を禁じ得ません。これからも、合唱音楽という同じひとつの芸術の追求に若き情熱を燃やし、男声合唱をこよなく愛する良きライバル、頼もしき僚友として、共に切磋琢磨していこうではありませんか。今年の東西四連は、我々東京勢が大阪に乗り込む番ですね。負けませんぞ。

最後に、今宵の演奏会の御成功と今後の限りなき御発展を、東京の地よりお祈り申し上げます。

慶應義塾ワグネルソサイエティー男声合唱団

第77回定期演奏会を迎えられます皆様に、心よりお祝い申し上げます。

毎年、皆様とは東西四大学合唱演奏会で御一緒するものの、京都と東京という地理的条件もあって、残念ながら交流はそれほど活発とは言えません。しかし、遠く離れてたとえ年に一度しかお会いする機会はないとしても、同じ合唱を志す者の間の友情は深いものであると思います。お互いに、合唱を愛する者が数百キロも離れた所にいると確認できることは、大きな喜びであり、また大きな励みでもあります。皆様の、一体となったメンタルハーモニーをお聴きする時、私共ワグネルソサイエティーはいつも多くの点を学ばせていただいております。過去何十年もの間、お互いに切磋琢磨し合ってきた態度はこれからも変わることはありません。今宵も、皆様はこの一年間の成果を集積され、あふれんばかりの情熱を持って見事な演奏を繰り広げられることでしょう。私共は、本年も四連で皆様と御一緒することを楽しみに、努力を重ねてまいりたいと思っております。

最後になりましたが、今宵の御盛會と、皆様の今後のより一層の御発展を、ワグネルソサイエティー一同、心よりお祈り申し上げます。

立教大学グリーンクラブ

第77回定期演奏会を迎えられます皆様に心よりお祝い申し上げます。

「キリスト教精神」による教育を標榜する両大学のグリーンクラブが交歓演奏会をもったのは1931年のこと。以来、東京と京都という地の隔たりはあるものの、良き僚友として、良きライバルとして、互いに批評し、助け合い現在に至っていることを思えば、半世紀にわたる両グリーンクラブの交流の成果は測り知れないものと存じます。ただ今年同立交歓演奏会が開催できなかったことは残念ではありますが、たとえどのような状況にあっても両グリーンクラブの交流はゆるぎないものと信じております。

今年は77年目を迎えられ、その輝かしい伝統に培われた重厚なハーモニーは、聴衆を魅了することでしょう。その伝統を継承していくことはあながち保守的傾向にならざるを得ませんが、そのような中で、伝統に押しつぶされることなく、毎年個性にあふれた演奏をなされる皆様に、我々立教グリーは尊敬の念をいただき、学ぶべきものを感じます。

最後になりましたが、今宵の演奏会の御成功を東京の地よりお祈り申し上げます。

関西学院グリーンクラブ

第77回定期演奏会の御開催おめでとうございます。毎年貴団の演奏をとて楽しみにしております。貴団の演奏を聞いた後の私共の練習は、自然に普段よりも熱が入ってしまいます。今年もあと一週間後には私共のリサイタルがございますので、貴団の演奏を聞いた私共が急にあせってしまうのではないかと心配しております。さて、貴団の合唱の魅力は何といつても力強い響きだと思います。しかしそれだけではなく、聴衆をすっきりと包み込んでしまうような男の優しさをも見事に表現され、男声合唱の醍醐味を存分に味あわせてくれます。また東西四連、関西六連などで御一緒する機会が多いのでよく存じているのですが、ステージを離れた皆さんはとても陽気で楽しい人が多いですね。このように数多くの魅力を持つ貴団とは今後とも良きライバル、良き友であり続けたいと願っています。そのために本日の演奏会が貴団の持ち味を十分に発揮されるような素晴らしいものとなりますよう心からお祈り申し上げます。

DOSHISHA COLLEGE SONG

作詩 W.M.Vories

作曲 Carl Wilhelm

I. 男声合唱とピアノのための「ことばあそびうたⅡ」

- | | |
|----------|----------|
| 1. かっぱ | 作詩 谷川俊太郎 |
| 2. うとてとこ | 作曲 新実徳英 |
| 3. たそがれ | 指揮 芦田直幸 |
| 4. さる | ピアノ 長田育忠 |

II. 「月下の一群」 ～フランスの詩による男声合唱曲集～

- | | |
|----------------------------|----------|
| 1. 小曲 (フィリップス・シャヴァネックス) | 訳詩 堀口大學 |
| 2. 輪踊り (ポール・フォール) | 作曲 南弘明 |
| 3. 人の云ふことを信じるな (フランシス・ジャム) | 指揮 福永陽一郎 |
| 4. 海よ (催眠歌) (アンドレ・スピール) | ピアノ 久邇之宜 |
| 5. 秋の歌 (ポール・ヴェルレーヌ) | |

—INTERMISSION—

III. 「オーベルニュの歌」

- | | |
|----------------------------|-----------------------|
| 1. BAÏLÉRÔ (バイレロ) | 原作曲 Joseph Canteloube |
| 2. CHUT, CHUT (静かに) | 編曲 福永陽一郎 |
| 3. LOU COUCUT (かっこう) | 指揮 富岡健 |
| 4. BREZAIROLA (こもり歌) | チェレスタ 山本優子 |
| 5. PASSO PEL PRAT (牧場を歩いて) | コントラバス 三宅康司 |
| | オーボエ 城石賢明 |

IV. NEGRO SPIRITUALS

- | | |
|------------------------------------|----------|
| 1. DO-DON'T TOUCH-A MY GARMENT | 指揮 福永陽一郎 |
| 2. CALVARY | |
| 3. IF I GOT MY TICKET, CAN I RIDE? | |
| 4. MARY HAD A BABY | |
| 5. SET DOWN SERVANT! | |
| 6. THAT LONESOME VALLEY | |
| 7. MY GOD IS A ROCK | |

ことばあそびうたⅡ

詩は主観的な自己表現であるという考え方が、多くの人々を固定観念のように支配している。その中で谷川俊太郎は言葉の世界がいかに奥深く豊かであるかを知り、自分に言葉をひきつけるのではなく、自分が言葉の中に歩み入ろう、むしろ自分を消してゆく方向に言葉の富は表われてくるという考えの上に「ことばあそびうた」が生まれた。

「ことばあそびうた」は主に音韻面での遊びを規則にしばられずに試み、しかも、その内容はナンセンスなものではなく、いわば、わらべうたに見られる一種のポエジイを感じさせるものとして生まれた。また作曲家新実徳英はこの詩を更に生かすために、巧みなリズム、和音、ダイナミック等を用いてこの曲を作っている。なお、この「ことばあそびうたⅡ」は第27回東西四大学合唱演奏会で関西学院グリークラブによって初演された。

「演奏にあたって」

合唱祭が数日後に迫っていた5月のある日、福永先生より第77回定期演奏会のプログラムについてのお話があり、私に「君は多田武彦の作品などを好んで取りあげているようだが、君の為にも、同志社グリーの為にも、ことばあそびうたⅡをやってみたらどうだ」と言われた。私には荷が重すぎると思い即答を避けていたが、色々な事情もあり、やってみようと思決心した。同志社グリークラブにとって、いずれはレパートリーにしなければならない作品であることは確かだが、私にとっては大冒険であるといわざるをえない。幸い伴奏を高校時代からの友人である長田育忠君が快く引き受けてくれたので彼に全幅の信頼を寄せている私としては大安心なのであるが演奏にあたっては彼にオンブしないようにしなければならない。今はただ一連の「ことばあそびうた」ブームの最後を飾るにふさわしい演奏ができる事を切に願っている次第である。

芦田直幸

メッセージ

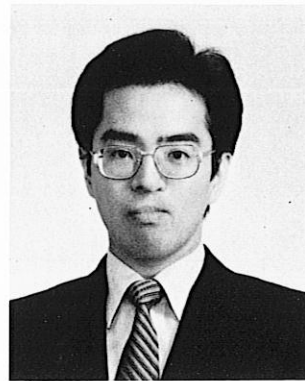
第77回定期演奏会、おめでとうございます。
同志社グリークラブという、数年前（東西四大学合唱演奏会）（於：大阪フェスティバルホール）で聴いた『わが歳月』の熟演が大変印象深く思い出されます。ちょうどこの同じ演奏会で関西学院グリークラブにより『ことばあそびうたⅡ』が初演されたのでした。演奏会後の打ち上げパーティで福永陽一郎先生がこの曲を絶賛して下さり、またその将来を予言されたのも懐しく思い出したりします。

初演すらおぼつかず、ともかく自分の情熱のおもむくまま書き上げたこの作品が、今、出版を経てこうして一人歩き始めたことを思うと感慨深いものがあります。

さて、今回は指揮、ピアノとも学生であるお二人がこの曲に取り組んで下さること。グリーの皆さんと力をあわせ、失敗を恐れぬ、若々しい力が噴出してくるような演奏ができ上に違いないと確信しています。

最後に、同志社グリークラブがさらに音楽的技術的に高度な世界へと踏み込んで行かれますことを、又、新しい合唱曲(より困難な課題として)にも大いに意欲を注いで行かれますことを期待し願っております。

新実徳英



長田育忠

同志社大学法学部在学中。高校時代から合唱、独唱の伴奏や礼拝でのオルガニスト等をつとめる。ピアノを山下啓子、遠山つや、松野景一諸氏に、和声楽を島田和昭氏に師事。現在、大学や一般の合唱団で伴奏者として活躍中。また合唱用の編曲も多く手がけている。

ことばあそびうたⅡ

I. かつば

かつばかつばらった
かつばらっばかつばらった
とってちってた

かつばなっばかつた
かつばなっばいっばかつた
かつてきってくった

II. うとてとこ

うとうとうとう
うがよんわ
うとうとうとうと
いねむりだ

てとてとてとて
てがよんほん
てとてとてとてと
らっばふく

ことことことこ
こがよにん
ことことことこと
とをたたく

III. たそがれ

たそがれくさかれ
ほしひかれ
よかれあしかれ
せがれをしかれ

たそがれくまかれ
きつねかれ
けれどおちうど
かるなかれ

たそがれはなかれ
みずながれ
なかれたたかれ
かれののわかれ

IV. さる

さるさろう
さるさらさろう
さるざるさろう
さるささらさろう
さるさらささろう
さらざるささらささらささらって
さるささりさる
さるさらば



「月下の一群」～フランスの詩による男声合唱曲集～

昨年亡くなった詩人・堀口大學の訳詩集は、50種 100冊に近いという膨大な数量である。そしてそれらのどの1篇でも、求められて訳したもの、目的があって訳したものはないという。すべて自分の肌合うもの、日本語移植の可能なもののみをえらんで訳出されたものである。それゆえ、訳詩もまた堀口大學自身の詩作であるとみるべきだという説が強い。

「月下の一群」は、その訳詩のもっとも著名な集大成で、初版は1925年、第一書房から贅を尽くした豪華本として出た。初版以来、度々版を重ね、紙型が摩滅して使用不能になるほどであったという。1952年、戦後最初の版が白水社から出た。内容の量、えらばれた詩人の収録された詩人数に変わりはなかったが、最少限度の加筆がなされたという。次いで1954年、新潮文庫版が出て、これまた少量の加筆がなされた。文庫本になったため、堀口大學の詩といえば、まずこの「月下の一群」が人口にのぼることになった。

フランスの詩による男声合唱曲集「月下の一群」が作曲されたのは1978年で、高校の合唱団でありながら、それまでも多くの新作委嘱をしてきた広島県崇徳学院高等学校グリークラブのためになされたもので、同合唱団、指揮・天野守信によって初演された。作曲者の南弘明は、その合唱曲家としての出発を男声合唱組曲「蛙の歌」によっておこなった人だけに、男声合唱の機能をよくこなし、響きのよい好篇に仕立て上げている。

作曲者は、作曲の委嘱を受けたのち、詩の選択に永い時間を要していたが、偶然、書店にて堀口大學訳詩集「月下の一群」を棚の中から見つけだし、立読みしている間に、その内容の美しさと、訳詩とは思われない美しい日本語にすっかり魅せられてしまい、これに作曲したいという欲望を募らせたという。この訳詩集に惚れ込んでしまった作曲者は、とりあえず、青年らしい感受性が豊かに表現されているものばかりを5つえらんで作曲した。この5つの詩によって「青春の歌」を書きたかったと述べている。

フランス・ジャムやポール・ヴェルレーヌなどの詩が、日本語によってなお、フランス近代詩のかおりをよく伝えてるとすれば、曲は、日本的音楽素材をいっさい使用せずに、それでいて日本人の情感をよくあらわしていると言うことができ、両者に不思議な調和がかもし出されている。

福永 陽一郎

第1曲 「小曲」

「目をひらいている時より目をつむった時の方が私にはよく物が見える。」と言った画家キリコの言葉は、シャヴァネックスの詩と本質的に同じ意味を持っているのではないのでしょうか。曲は、ピアノの前奏、アカペラのハミング、テナーの歌うテーマ、ハミング、ピアノという具合にピアノの美しさと無伴奏合唱の美しさが見事に対比されています。本組曲の小序曲としてふさわしい作品とも言えましょう。

第2曲 「輪踊り」

ポール・フォールの明るく騒りがない詩に3拍子の舞曲がつけられています。同じ旋律を4回、しかしながら毎回感情の変化を伴いながら輪踊りは、いつ終わるともなく続きます。

第3曲 「人の云ふことを信じるな」

ジャムの本詩は、論理的には自己矛盾に陥っています。つまり、我々にとっては、ジャムが本詩で言っている事を信じれば信じる程その内容を信じてはいけないう結果を招きます。とは言っても、この歌はそのような論理学の産物ではなく、フランス特有のパロディーとして受け取るべきでしょう。不協和音ではじまる「乙女の祈り」のピアノ前奏にその諧謔性が示されています。

第4曲 「海よ」(催眠歌)

海——万物の母たる海をスピールは時間超越した存在として雄大に、また詳細に描いています。曲は、ピアノの分散和音によって揺れ動く波を表わし、一方合唱はフレーズを長くとって海そのものの大きさを表わしています。中間部の高まりまで、とぎれることなく続いた後、初めのテーマが再び現われて曲は静かに終わっていきます。まるで人と海とが一体化するかのよう……。

第5曲 「秋の歌」

ヴェルレーヌの本詩は、「海潮音」の作者、上田敦によっても有名ですが、堀口大學は翻訳の時点で、「海潮音」の存在を知らなかったと言ったこと。この詩の解釈は人によっても異なるでしょうが、我々としては、秋の憂愁を歌うと同時に来たるべき春への「再生の詩(うた)」としても歌いたいと思います。曲は、ものうげな旋律がピアノの低音部からはじまり、後半では一種のシャンソンとも言えるようなピアノの分散和音の中に感情の高まりを示してから静かに終わります。

小曲
目を開くと
私には景色が見える
目を閉すと
私にはお前の顔が見える。

輪踊り

世界ちゅうの娘さんたちがみんな
手をつなぎ合う気にならなうたら
海をめぐって輪踊りを
踊る事々(出来よう)に。
世界ちゅうの若者たちがみんな
船乗りになる気にならなうたら
海に綺麗な舟楫を
かけることさ(出来よう)に。
世界ちゅうの人たちがみんな
手を握り合う気にならなうたら
地球をめぐって輪踊りを
踊る事々(出来よう)に。

人の言ふことを信じるな

人の言ふことを信じるな 乙女よ。
恋をたづねて行かぬがよい 恋はないのだから
男は片意地で 男は醜く、さうして早晩
お前の肉気な美質は 彼等の下劣な欲求を嫌うだらう。
男は嘘ばっかりを言ふ。男はお前を残すだらう。
世話のやける子供と一緒に 回廊裏の側に。
さうして 晩飯の時刻になっても 男の帰る来ない日には
お前は感じるだらう。自分が祖母のようになり 年老いたと。
恋があるなぞと 信じるな おお乙女よ。
さうして 青空で上がった 果樹園へ行って
一番によく茂った 薔薇の木の中は、
一人で細く張って、一人で生きてゐるあの蜘蛛を見るがよい。

海よ (催眠歌)

海よ、さかしておくれ。お前が転じてゐた後(いし)のことを……。
お前はいつまでも飽きないか？
お前が碎いて砂にする岩のことを
お前の波のこぼれ、お前の沫(うぶき)のことを
お前の泡のこぼれ、お前の匂ひのこぼれ
お前の露が島に芽生えさせ
お前の風がいちめんの木のこぼれ。
牛乳のやうなお前の夜明けのこぼれ
お前の中に生れ、死んで、さうして揺れている
魚のこぼれ、貝のこぼれ、藻のこぼれ、海月(くらげ)のこぼれ
さうしてお前の中に死んでゆく諸々のこぼれ……。
お前は何時までも飽きないか？
さかしておくれ、お前をひきつける青空のこぼれ
お前の水に水鏡したがる星のこぼれ
(お前の波は休みなくその影をくづっている)
夜明けにお前をのがれ、お前を呼吸し、お前をひくする太陽のこぼれ、
夕暮、お前は太陽を自分の臥床に引止めて置きたいのだが
太陽はいつも逃げて了ふ。
さかしておくれ、磯(いし)のこぼれ。
お前はいつまでも飽きないか？

秋の歌

秋風の、ワイオロンの
節々がさあは(すす)き
もの曇り底みに
わが魂を
痛ましくむ。
時の鐘、鳴りも出づれば
せつなくも胸せまり
思ひぞ出づる、来し方に
涙は漣く。
落葉ならぬ、身をば違る
われも、かきたこなた
吹きまくれ、逆風よ。

オーヴェルニュの歌

古代の西ヨーロッパに分散していたケルト民族（フランスでゴール人、イタリアではガリア人と呼んでいた）が、ゲルマン、ラテン民族の進出におされ、ブリテン、イベリア半島に移動したなかであって、オーヴェルニュ地方に残存したのは、四周をめぐる天険と、きびしい自然環境の然らしむるところであった。フランスのなかであって、オーヴェルニュ地方だけが、ラテン系のフランス語とはちがったケルト系の言語の名ごりをとどめ、文化的な特殊性を伝えているのはそのためである。むかしは、オーヴェルニュ州と言われていたが、州制廃止後、カンタール、ピュイ・ド・ローム、オート・ロアールの三つの県にわかれてた。しかし、全体をオーヴェルニュ地方といった方が、いまでもとおりがよい。冬は雪にとざされてきびしく、夏は雨が多い。耕地に恵まれないので農家は貧しく、羊飼は牧草をもとめて転々と移動する。オーヴェルニュのひとたちはそうしたまじしい生活感を情歌に託した。それが、ケルト文化の遺産となつてフランス民俗音楽のなかでも、オーヴェルニュ地方の民謡の特殊性をもたらしたものである。

オーヴェルニュ地方の民謡は、純粋に歌だけのグランド(Grandes)と踊りを伴うブーレー(Bourees)がある。ブーレーの方はバッハの組曲などにもとりいれられてよく知られているように、17世紀から18世紀にかけてヨーロッパでひろく親しまれたオーヴェルニュ原産の舞曲であった。民謡としての特色はその大部分が羊飼いか貧しい農民をうたったもの、とくに牧草をもとめて転々とする羊飼いの生活をうたったものが大部分を占めている。

1. ヴィク・スール・セール地方の羊飼いの歌で川をはさんだ2人の、のどかなおしゃべりが歌われます。メロディーは、せまい音程の中でしか歌われておらず、他の声部が山々の、のどかさ、こだまする声を作り牧歌的な情景をかもし出します。
2. 「オーヴェルニュの歌」第4集に収められている曲で、2拍子と3拍子の交替が行なわれ、軽快で楽しいメロディーをつくっています。
3. 2拍子にのってリズムカルにメロディーが歌われ、他の声部が鳥のさえずりを口ずさみます。一節に一度づつ16分音符がぎざまれ、曲をさらに楽しいものにしていきます。
4. ゆりかごの赤ん坊への、母親のやさしい子守歌。素朴な歌であるが、美しい転調と全曲を通じてのハミングが曲をさらに優美なものに仕立てます。
5. オーヴェルニュ地方の典型的なグランドの曲で、大部分を「ロロ、ロ……」という音で歌われ、間に少しの歌詞が入っています。単純な旋律が、ゆったりとしたテンポで反復されます。

(プロフィール)



城石 賢明 (オーボエ)
 1970年4月 愛媛大学教育学部入学oboeを始める
 1975年3月 同大学卒業
 1975年6月 西ドイツ政府の給費留学生として渡独
 1975年10月 西ドイツ、デトモルト音楽院に入学
 1977年8月 帰国、大阪フィルハーモニー交響楽団に第1オーボエ奏者として入団
 オーケストラ以外に「ハルモニア・ノヴァ」のメンバーとして、アンサンブルやソロ活動も。また生徒の指導も行っている。
 岩崎勇、ヘルムート・ヴィンシャーマン両教授に師事。



三宅 康司 (コントラバス)
 西出昌弘、宮沢敏夫、西田直文、堤俊作の諸氏に師事。
 昭和48年7月 京都市交響楽団入団
 昭和49年 大阪音楽大学卒業
 昭和54年 西ドイツ、イタリアに留学しF・ペトラッキに師事。
 昭和55年 帰国後、京響に復団し現在に至る。
 アルフィーネ室内合奏団における室内楽活動にも活躍中。

カントループについて

カントループのフルネームはマリー・ジョセフ・カントループ・ド・マラレという。1879年10月21日にオーヴェルニュの東南端の山地アノネーに生まれた。パリでヴァンサン・ダンディの主宰するスコラ・カントゥールムに学び、ダンディ風の色彩感の濃い管弦曲を書いていたが、1926年に発表したオペラ「農家」Le Masは音楽書で有名なユージェル社の賞をうけ10万フランを与えられ、1933年にはシーザー等を破った勇将を主人公にしたオペラ「ヴェルサンジェトリックス」をパリのオペラ座で発表したほか、かなりの作品をのこしている。ほかにも器楽曲や声楽曲を相当書いているが、彼のオペラや歌曲のほとんどは、オーヴェルニュ地方を舞台にしだりその民謡をとり入れたもので、徹底的な地方主義作曲家であった。したがって「オーヴェルニュの歌」が、彼の代表作となったことは奇異とするにあたるまい。

カントループは1957年11月4日、パリで77才の生涯をおえた。

オーヴェルニュの歌

バイレロ 1. BAÏLÈRÔ

Pastré, dè delàï l'aïo, a gairé dé boun tèn,
 dio lou baïlèro lèrô lèrô lèrô lèrô lèrô
 baïlèrô lô!
 (Refrain)
 tsour nous forèn l'omour!
 Ogatso louï moutous, pitchouno drooulèto,
 Ogatso louï moutous, lèis obilhé maï nous!
 Ogatso louï moutous, pitchouno drooulèto,
 Ogatso louï moutous, lèis obilhé maï nous!
 Ogatso loï fèdoï qué païssou l'èrbo,
 è lèis obilhé qué païssou loï flours;
 naôtrès, pitchouno, qué soun d'aïma.
 Pèr viouvr' obon lou plosé d'omour!

Pastré, lou prat fai flour,
 li cal gorda toun troupeï,
 dio lou baïlèro lèrô lèrô lèrô lèrô
 baïlèrô lô! ba
 (au Refrain)
 Pastré, couci forai, èn obal io lou bèl riou,
 dio lou baïlèrô lèrô lèrô lèrô lèrô lèrô
 baïlèrô lô!
 (au Refrain)

羊飼が川を渡る、気にしないでバイレロをうたおう。(ほんとに私も気にしないさ、お前もバイレロをうたっているのだもの。)羊飼さんよ、原は花咲き、こっちへきて一緒にバイレロをうたわな。い。こ。こ。ち。側。の。草。は。緑。だ。よ。お。い。で。よ。、。バ。イ。レ。ロ。羊。飼。さん。よ。、。川。が。私。た。ち。を。へ。だ。て。て。い。て。私。は。川。を。渡。れ。な。い。か。ら。バ。イ。レ。ロ。を。う。た。っ。て。い。る。ん。だ。よ。(それじゃ私があんたの方に行くのでしょうか、バイレロ。)

静かに 2. CHUT, CHUT

Moun païré mé n'o lougado,
 moun païré mé n'o lougado,
 Per ona gorda lo bacado,
 tchut, tchut, tchut!
 tchut, tchut, que z'o cal pas diré!
 Tchut, tchut!
 mènès pas ton dè brut, mènès pas ton dè brut!

Né l'i soui pas to lèu estado,
 Né l'i soui pas to lèu estado
 Qué moun golont m'o rencountrado,
 Tchut, tchut, tchut!
 tchut, tchut, que z'o cal pas diré,
 tchut, tchut,
 mènès pas ton dè brut, mènès pas ton dè brut!

N'aï pas ièu fatso de fuzados,
 N'aï pas ièu fatso de fuzados
 Coum'o fat quel de poutounados!
 Tchut, tchut, tchut!
 tchut, tchut que z'o cal pas diré!
 Tchut, tchut!
 mènès pas ton dè brut, mènès pas ton dè brut!

Sé n'io bé de miliour couoïfado,
 Sé n'io bé de miliour couoïfado,
 N'oo pas dè miliour embrassado!
 Tchut, tchut, tchut!
 Tchut, tchut, que z'o cal pas dire!
 Tchut, tchut, menes pas ton dè brut!
 Mènès pas ton dè brut!

〔大意〕おやじさんがいやな仕事をいつけたよ、牛の番をおこつてさ、チュッ、チュッ、だれにも言うんじやないよ、音をたてちゃいけないよ。私がそっちへゆくと、愛するひとが来るんだよ、だれにも言うんじやないよ。……私は口下手だから、キスをくりかえしてしてやるのさ、だれにも言うんじやないよ。……娘はうんと着飾ってくるだろうけれど、それよりうんとキスをしてもらった方がいいのさ。だれにも言うんじやないよ。……

かつこう 3. LOU COUCUT

Lou coucut oq'u'os un àuzel
 Que n'io pas capt plus de to bel
 Coumo lou coucut que canto,
 Lou mió coucut, lou tió coucut,
 lou mió coucut, lou tió coucut,
 é lou coucut dès autres!
 Dió ? Obès pas entendut
 Canta lou coucut ?
 Per obal, ol found del prat,
 Sé n'io un áubré flourit è gronat
 Qué lou coucut l'i canto.
 Lou mió coucut, lou tió coucut,
 lou mió coucut, lou tió coucut,
 é lou coucut dès autres.
 Dió ? Obès pas entendut canta lou coucut ?

É se toutte les coucuts
 Bou liou pouta souneto,
 ô! foriú cin cent troumpeto!
 Lou mió coucut, lou tió coucut,
 lou mió coucut, lou tió coucut
 é lou coucut dès autres.
 Dio ? Obès pas entendut canta lou coucut ?

〔大意〕郭公はかわいい鳥だ。郭公がうたうとき、それに優る美しいものはない。私の郭公が、おまえの郭公が、そしてみんなの郭公が、いってごらん、郭公の歌をきいたことがある？野原で、花咲く木のかげで、郭公はうたう。それは私の郭公、おまえの郭公、みんなの郭公。いってごらん、郭公の歌をきいたことがある？それは500のラッパの響きにもまけない、ちっちゃな鈴の音さ、私の郭公、おまえの郭公、みんなの郭公。いってごらん、郭公の歌をきいたことがある？

牧場をとおいで 5. PASSO PEL PRAT

Lo lo lo lo lo lo lo lo lo lo lo lo lo lo
 Lo lo lo ...
 Passo pel prat, bèloto,
 leu possorai pel bouos;
 Quon li sèras, pouloto,
 M'èspèroras sè vous!

Lo lo lo ...
 Nous porlorèn, filhoto,
 Nous prolorèn toui doux;
 Qu'os toun o mour, drouloto,
 Qué mè foro hurous!
 Lo lo lo ...

〔大意〕ロロロ……美わしの彼女よ、野原をおゆき、私は森にいる。よかつたら、おまえはそこで私を待っていておくれ、ロロロ……可愛い娘よ、私たちは語り合おう。きれいなお前よ、お前の私への愛は私をとても幸せにしてくれるのだ。

こもり歌 4. BREZAIROLA

Soun, soun, bèni, bèni, bèni;
 soun, soun, bèni, bèni, bèni.
 Soun, soun, bèni, bèni, bèni;
 Soun, soun, bèni, d'èn docon!
 Lou soun soun bouol pas bèni, pècaïré!
 Lou soun soun bouol pas bèni,
 Lou nèni s'en bouol pas durmi!
 Oh!

Soun, soun, bèni, bèni, bèni;
 Soun, soun, bèni, bèni, bèni!
 Lou soun soun bouol pas bèni,
 L'èfontou bouol pas durmi!
 Soun, soun, bèni, bèni, bèni;
 Soun, soun, bèni, bèni, bèni;
 Oh! Oh!

Soun, soun, bèni, bèni, bèni;
 Soun, soun, bèni, bèni, bèni!
 Atso lo qu'ès por o qui, pècaïré!
 Atso lo qu'ès por o qui,
 lou nèni s'en boulio durmi ...
 Oh!

〔大意〕眠りよ、やっつておいで。眠りよ、どこからでもやっつておいで。この可哀そうな子供に、眠りはまだこない。子供は眠ろうとしないの。眠りよやっつて、いそいで来ておくれ。この子は眠ろうとしたいの。眠りよやっつて、この子のところにやっつて。おや、ようやくやっつてきた。眠りがきたよ。そして子供は眠ったよ。おお！

Negro Spirituals

「ちょうど真珠貝が真珠を作るように、民衆は自分たちの涙で歌をつくってゆく」とロラン・マニユエルは言ったが、そうした魂の歌、民族の祈りの歌の典型がニグロ・スピリチュアルであると言うことができるであろう。

18世紀から19世紀にかけて、当時新大陸と呼ばれていたアメリカの開拓のため、重宝な労働資源としてアフリカから多くの黒人たちが悲惨な状態のもとに送られてきたのは、多くの記事や文学によってよく知られている歴史的事実である。広大な土地の開拓に、人的資源に対する要求が高まり、強い体力を持つ黒人たちが、おもに南部諸州に大農場制が発達するにしたがって、奴隷売買というかたちで導入された。「言葉をしゃべる家畜」としての悲惨な生活は、実際には一般に知られているよりも数倍も苛酷なもので、言語を絶するものがあったに違いない。

その悲惨な生活のうちであって彼等を慰めた唯一のものは「歌」であった。わずかな家財道具の所持さえ禁じられた黒人たちは、夜のとぼりが降りて仕事から解放されたとき、あつまっては手拍子を打ちながらうたった。

彼等の「歌」が、故郷のアフリカから持ってきたものか、あるいはキリスト教化の過程で耳にした白人の讃美歌を模倣したのかどうかは、かねてから論争のもとであり、比較音楽学者の研究材料となったが、彼等の主たる供給源であったコンゴ地方の音組織や形式上のパターンが、現在のニグロ・スピリチュアルと多くの共通点を持つことから、黒人たちは、祖先伝来の民族的な音楽的遺産を、新大陸で得た宗教的な素材と結合させたものであったという見解が主流を占めるようになった。

キリスト教は、たゞに黒人たちのみならず、開拓時代の殺伐な白人たちの間でも、強力な宣教活動がおこなわれていて、アフリカ時代の素朴な原始宗教では自分自身が救済されないことを知った黒人たちの共感を得て一斉に傾倒したことは容易にうなずける。彼等にはむつかしい教義よりも、「自由と平等」を唱えるキリストの教えを素朴に傾聴、奇跡に単純の驚きの眼をみはるとともに、現世では得られぬ平安を天国に求めたのであった。彼等は「死」と「天国」を結びつけ、そこに永遠の「ホーム」を見出した。ニグロ・スピリチュアルに多い「家へ帰ろう」という言葉は、直接に死への憧れをあらわし、天国に行ってこそはじめて安息が得られるという黒人たちの思想は、信仰というよりもっと現実的な悲惨からの逃避であったのである。

アメリカの民謡的音楽として、ニグロ・スピリチュアルは、古くから合唱曲に編曲されてきた。単にヨーロッパ音楽のロマン派の手法でハーモニーをつけたものから、次第に民族的音楽語法をわきまえた編曲がなされるようになったが、今夜は、アメリカでもっとも有名な合唱指導者ロバート・ショウの編曲（とそのスタイルの新編曲）で演奏される。

福永 陽一郎



同志社グリークラブ技術顧問 福永陽一郎

1926年神戸に生まれる。東京音楽学校（現東京芸大）本科ピアノ科出身。井口基成、豊増昇氏に師事。在学中より東宝交響楽団（現東京交響楽団）で近衛秀磨氏の助手をつとめる。1951年藤原歌劇団に入団し、ピアニスト、副指揮者、合唱指揮者として経験をつむ。M・グルリット氏に師事。1956～65年藤原歌劇団常任指揮者として活躍し、同団の第三次渡米公演に同行。アメリカ、カナダの主要46都市での公演を指揮した。1959年、61年、63年、71年にNHKのイタタア・オペラ来日公演に日本側代表指揮者として参加。副指揮者、合唱指揮者をつとめる。オペラ指揮者として日本屈指のベテランである。

合唱音楽に関しても経験が深く、合唱界の第一人者の一人である。プロ、アマを通じての指揮、講師、審査員としての活動、編曲、レコード録音など、数えきれないほど多方面にわたって活躍し、評論活動も注目されている。

1979年ウィーン世界青少年音楽祭合唱コンクール審査員。

昨年の一月中で、私が同志社グリークラブの技術顧問になって満20年になり、その年度の定期演奏会でひとときを付けようと考えていたのだが、会場の都合で日程が二転三転し、出演指揮が不可能になってしまい、いわゆる「踏ん切り」がつかなくなってしまった。それで何となく今年の定演の指揮を引き受けてしまった形である。まあ、切りを付けると言っても、関係を断ってしまうわけにもゆかないだろうから、何も今回で同志社グリーの指揮台に立つことが終り、というのではないだろうけど。

今年は、私の曲目は、肩を張ったものではない。ここで技術的に余裕のあるなかで、伝統の永い合唱団の底力を表出してみたい、とそれはそれで意欲満々ののだが、不可能に挑戦するといったものでは決してない。

近來、コンクールなどでも、ウルトラCをねらうことが入賞への近道という気分が支配しているようだが、私自身はこのごろ、表面的なアクロバットに興味がうすくなった。やはり年齢なのだろうか。（そのかわり、若い芦田君には、うんと翔んでもらうことにした）じっくりと中味を充実させ、構造を明確にする。そんな音楽がやりたくなってきた。

同志社グリークラブのような古くからの名門合唱団でも、言うまでもなく、現団員は現在の学生で、どこと違って格別の利点を所有しているわけではない。それでもなお、ここぞという時、さすがという「何か」が出せるのではないか。漢たるものだが、私にはグリーメンへのそういう信頼感がある。



指揮者 富岡 健

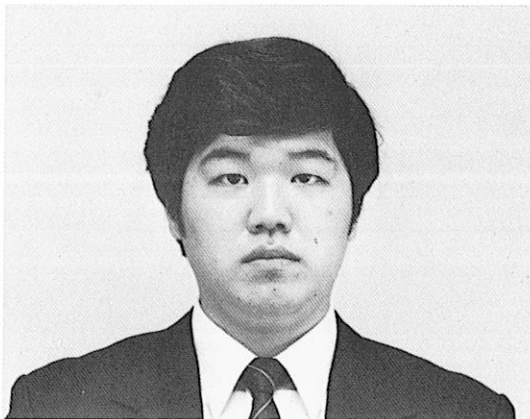
昭和49年3月同志社大学法学部卒業。同年4月グリークラブアメリカ演奏旅行に学生指揮者として参加後、Wayne State Univ.の音楽部指揮科に入学。その間 Student Assistant として同校の合唱団の指揮や、Detroit Symphony傘下のDetroit Youth SymphonyのAssistant Conductorとして研鑽をつむ。52年9月帰国後、関西の多くの合唱団の指揮にあたっている。第74回定期演奏会より同志社グリークラブ指揮者に就任した。

昨年の定期演奏会は本当に私にとりましてつらいものでした。二十数年くずれることになった「福永＝同グリ」コンビが、初めて途切れてしまったのです。現役は勿論のこと、OBやグリーのファンが最近経験しなかったことだけに、まさに大事件でした。福永先生の留守をあずけられた私には、大事件以上の出来事でした。幸い、京響の若いメンバーや、二期会の優れたソリスト達の協力が得られた上に、最後まで、不安と淋しさを隠し切れなかったグリーメンも、もちうる限りの力を本番で出しきってくれ、なんとか、無事留守番役の責任を果たすことができました。

今年の定演は従来通りに戻ったわけで、一番喜んでるのは、きっと私でしょう。コーヒーにクレープ、同グリに陽ちゃん。血の気の多い若手としては失格かもしれませんが、こう並べるだけで安心してしまおうのは、私がグリーのOBだからでしょうか。

さて、今日演奏する「オーヴェルニュ」は私にとって永年のあこがれの曲でした。初めてこの曲を聴いたのは、私が現役の学生指揮者として最後の定演の仕事を終えた直後でした。ライバル関西学院グリーのリサイタルで、同期の金房君が指揮したときのことです。この曲の美しさにおどろき、感動しました。そして次第に、この曲を指揮して卒業していく彼にひどく嫉妬したことをはっきり覚えています。以前からこの曲を知っていたならば私もきっと彼のようこの曲を最後に演奏していたでしょう。しかし、遅すぎた。彼がこの曲を紹介したのは、畑中先生と大久保先生とうかがって、なんでアイツなんか教えて、ボクにいうくれへんかったんや、と御二人の大先生を心から憎みました。留学時代、ステレオセットを買い込んで、初めて買った求めたレコードが「オーヴェルニュ」だったことを思うと、あのときのショックはかなりのものだったんでしよう。

あれから8年。関学の演奏は、清水修の編曲のもので、ア・カペラで書かれていました。しかし、今日の演奏会のために、福永先生が器楽を伴った男声合唱に新しく書いて下さいました。永年のあこがれだったこの曲を演奏できるよるごひの上に、新版の初演指揮という光栄な機会にも恵まれましたことを、心からうれしく思っています。



第50代学生指揮者 芦田直幸

1959年大阪に生まれる。中学時代より合唱に親しみ、高校時代には指揮者として活躍。1978年同志社大学法学部に入學、同時にグリークラブに入部する。3回生の夏の演奏旅行でSea Shantyを指揮する。昨年1月より第50代学生指揮者に就任。

2回生の1年間を会計サブとしてマネージをし、それで今のような立派な体格になったのではないかと、というもっぱらの噂さではあるが、あの体全体を使ったダイナミックな指揮はグリーンメンを自然と曲にのめり込ませてしまう。又、私生活においても下級生にとっては、「直幸スマイル」が親近感をもたせ、色々な相談事を持ちかけているようである。

今宵は、そんな彼が創り出す音楽「ことばあそびうたII」を心ゆくまでお楽しみ下さい。

今年度の前期、東西四連では50名にも満たない人数で四苦八苦しながら、それでもなんとか皆様に名演であったと言っていただけの演奏をしました。その後27名もの将来有望なフレッシュメンを迎え入れる事が出来、今年のグリークラブは安泰である様な気がしました。しかし後期に入ってから何かクラブ内に沈滞した空気が流れ始め、誰が悪いという事じゃないのですが、クラブ全体がしっくりいかない様になりました。それからは試行錯誤の毎日続き、酒の席でも話題の中心は動もすればクラブについてというようになりまして。やはり同志社グリークラブは一つの転期にさしかかっているのでしょうか。時代と共に世の中の、いや若者の価値観は変わって行きます。それにつれて同志社グリークラブが変わるのも当然なのかもしれません。しかし幸いなことに今、同志社グリークラブは確実にいい方向に向かって変わろうとしています。クラブの雰囲気もメサイアを通して良くなって来ましたし、私自身も何かこの事を通して成長したのではないかと思っています。

最後になりましたが、この一年間多大なる御指導を賜りました福永先生、富岡先生、大久保先生ならびに諸先生方には厚く御礼を申し上げますと共に、これから末長く後輩の御指導をよろしく御願いたします。



ヴォイストレーナー 大久保昭男

昭和28年、東京芸術大学声楽科を卒業。矢田部勲吉氏に師事された。近衛秀磨指揮、青山杉作演出によるオペラ「カルメン」のモラレス役でデビュー。山田耕作指揮、オペラ「黒船」、ドヴォルザークのオペラ「ルサルカ」などにも出演された。昭和34年にはドイツ・リート、日本歌曲による第1回リサイタルを開かれた。

現在、昭和音楽短期大学教授、東京芸術大学講師。又、慶応ワグネル、上智、立教、関学、同志社の各グリークラブ、早稲田コール・フリューゲル、法政アカデミー等、大学のトップクラスの合唱団のヴォイストレーナーとして、関東、関西で広く活躍されている。

定期演奏会おめでとう。この冬は急に寒くなったせいか、とても美しい紅葉が方々で見られた。その美しい時もすぐに冬景色に変わり、毎回の練習を夢中で重ねている中に定期がやってくる。同志社グリーも熱心な練習が続いているが、ある一つの事に熱中している時は時間を忘れるものであり、思いもかけない早さで時が過ぎていってしまうものである。音楽を練習する時間の貴さはより濃度の高い練習をする人だけにしかわからないが、やはり何をやるにも基礎をしっかりとやって置かなければ、どこかでつまづきが出て来るのは確かで、音楽は絶対ごまかしがきかないことを一人残らず心してほしい。

京都には素晴らしい合唱団がいくつかあり生の演奏でその本当の力を出し来って人々の心をつつ。同志社グリーもひとりがよりなものから脱皮して厳しい音楽に立ち向かわないと決していい演奏は出来ない様に私は思えてならない。音楽の視野をもっと広げてより高い方向に進んでほしいと願っている。声の面で私も長年同志社グリーと共に歩んで来ているが、何よりも大切なことは一人一人が「リキミ」でなく心の奥深くから湧き出る魂で音楽を歌ってほしい。

今後すべての意味で幅広い努力を重ねていくことを強く心から願っている。



ピアニスト 久邇之宜

1972年、国立音楽大学ピアノ科卒業。クロイツァー豊子、近藤孝子氏に師事。小林道夫氏に伴奏法を師事。

二期会、東京室内歌劇場等でピアニストとして、多くのコンサート、テレビ、放送にと活躍。今や歌曲のリサイタルには欠かすことの出来ないピアニストである。又、福永陽一郎氏のよきパートナーとしても大学グリー等のピアノを受け持ち、彼の持つあたたかな、そして感受性豊かな音楽をおしげなく発揮している。

1979年より2年間ウィーンに留学、今年7月帰国。

第77回定期演奏会の開催されますことを心より御祝い申し上げます。

貴団とはかつて演奏会・レコーディング等で御一緒させていただきましたけれども、その時のことが今尚、懐しく又、鮮明に思い出されます。あの時、彼らが示してくれた演奏に対する集中力、又、最後のひとかけらまでも、音楽をするという事に捧げた激しい情熱は、驚異であり、深く頭が下がる思いでした。代が変わり、又、人が変わって来てはおりますが、福永陽一郎、富岡健、大久保昭男諸先生という素晴らしい指導者の元、貴団の伝統がより一層、培われてきておられると思います。又、今後のより一層の御活躍を心より御祈り申し上げます。

今回は、福永先生の指揮による「月下の一群」のピアノ伴奏を受けもたせていただくわけですが、こういった諸事情も含めまして、今から大変楽しみにしている次第です。グリーのみなさんどうぞ頑張ってください。



ピアニスト 山本優子

同志社女子大学学芸学部音楽学科ピアノ専攻卒業。吉田輝子、福本俊之の両氏に師事。現在、研鑽を積む一方、関西のいくつかの合唱団、又室内楽のピアニストとして活躍中。

去年の夏、約1ヶ月間西ドイツに行ってきました。私が滞在した所はドイツの北西にあるデトモルトという町で、アパートを借りて自炊生活をしながら大学に通ってピアノのレッスンを受たり、夜は音楽会を聴きに行く...という生活をしました。久しぶりに学生時代に戻った様で、アツという間の1ヶ月間でした。H.ユンク教授やF.W.シュヌア教授のレッスンを通じて、又御食事や散歩や音楽会等、様々な時のふとした先生方の純粋な物の見方、音楽のとらえ方、歌い方等電気ショックを受けた様に私には衝撃的でした。家族を大切に、友人を大切に、そして自分の心で感じた事、考えた事、それが発言や行動につながり主張につながり、そしてその事がどんな曲でも本当に隅々にまで心をこめて歌うという事につながるのです。人々を喜ばす為に演奏され、同時に御自身も楽しまれているのです。今までも私自身充分にやってきていたつもりでしたのでよけいに...。今日一緒にステージに立つグリーンメンとも、毎年その様にはしてきたつもりでしたが、今年は更に新しい気持ちで歌いあげてみたいと思います。

華燭の典



〈晴れの日〉おもてなしする心はひとつ

長い歴史と伝統から生まれる雰囲気がお慶びをひとときわもりあげます。
挙式からご披露宴まで、様式や調度の異なるご祝宴会場が、
ご両家にかわってきめ細かなおもてなしをいたします。

東山の高台から古都を一望
京都・東山・けあげ
都ホテル
☎(075)771-7111

新幹線口から歩いて1分
京都駅八条口
新・都ホテル
☎(075)661-7111

〈大阪空港へ便利〉両ホテル玄関前より空港バスが運行しています。

このまゝ帰ってしまうのが惜しい夜 鴨川二条の〈ホテルフジタ〉は深夜まで営業



グリル石水 夜11:00～深夜1:00まで
ピアノの調べと滝の眺め、楽しいお食事

- 一品料理
- 魚貝類のクレープグラタン……………2,500円
 - 仔牛のステーキ・グルメ……………2,500円
 - ステーキ・ディナー……………6,000円
- その他 各種、お夜食に洋風雑炊もございます。

割烹てんぷら天ふじ 夕5:00～深夜1:00まで
旬の材料を目の前で調理いたします

- 一品料理
- お雑炊……………1,300円
 - すっぽんなべ……………2,500円
 - お好み天麩羅……………4,500円ゆ

バー石水 夕5:00～深夜2:00まで
石と水のかもしだす幽玄の世界へ、お一人でも気軽にどうぞ



安くて近いコンパ会場

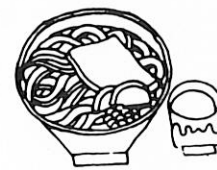
あよす

京都市上京区寺町今出川上ル
電話 231-5121・5122

京の都に本場さぬきの味を……

釜うどん(うどんすき) 1人前 1700円

◎きつねうどん 300円 ◎屋島うどん 450円 ◎天ぷらうどん 600円 ◎桶天うどん 600円



あなご丼 六五〇	おろしうどん 五〇〇	親子丼定食 四八〇	天丼定食 六五〇	へんろうどん 食 五〇〇	天ぷらうどん 食 六八〇	天鍋定食 七〇〇	なべやき 七五〇	味噌なべ 七五〇
-------------	---------------	--------------	-------------	-----------------	-----------------	-------------	-------------	-------------

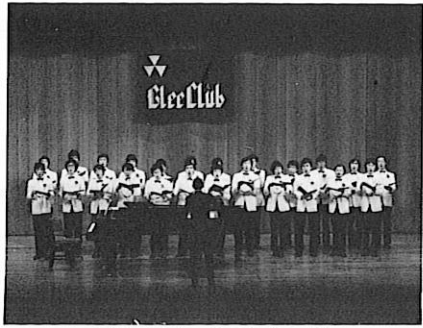


手打うどん (10名様位までのうどんすき)
予約うけたまわります

四条河原町
セブンエイト
食堂街

さぬき

四条河原町阪急百貨店
7F 食堂街
TEL 075 (255) 3534



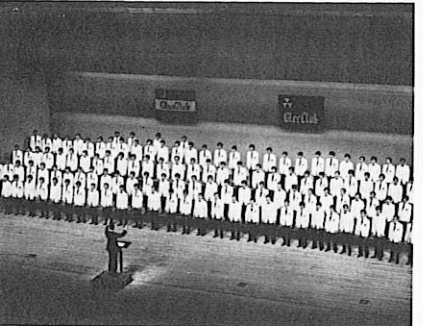
(フェアウェルコンサート)



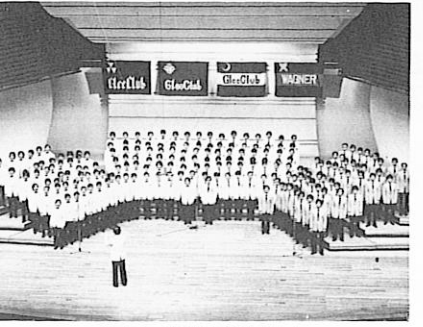
(春合宿)



(六連運動会)



(同志社・関学交歓演奏会)



(東西四大学合唱演奏会)

◆フェアウェルコンサート

大学と違って4年間しか在籍できないクラブの宿命。長いようで短いグリーでの4年間に数々の思い出を残し、なごり惜しく去ってゆく4回生をなごり惜しく、そして暖かく送り出す卒部式ともいべきフェアウェルコンサート。最近、大学合唱団の間でかなり定着してきた感があります。

思えば何もしらない私達をここまで育ててくれた先輩方。これでノルマからやっと解放されると強気な発言の某4回生も、ラストの式典ではほおに光るものが。先輩、クローバークラブが待っていますよ。コンサートの打ち上げの後、各パートごとの追コン、そして四回生主体の酒の席と、歌を愛し、酒を愛する者達の語り合いが続く。各パートごとに、「栄光のペースを守れ。」「栄光のトップは不滅だ。」との熱い言葉に我々後輩は耳を傾ける。四年間に御座敷を含め、立ったステージの数が百数十回。ほんとうにごくろうさまでした。昨年は翌日、福永先生の20周年記念パーティーも行われ、グリー一色に染まっていた。今になって先輩の存在の大きかったことを感じます。その先輩方も今は職場で忙しい日々を。さて、何人の方が今宵、会場へ駆けつけてくださるだろうか。

◆オリエンテーション

四月、春の陽ざしがまぶしいころ、期待に胸をふくらませて入学して来た新入生を各クラブや同好会がいかにして獲得するか、一年の中で最も華やかな季節、とも言えるのがこのオリエンテーションの時期です。我が同グリーもとりわけ多くの人確保を目指して早くから作戦をねってオリエンテーションに備えました。3、4人を1組にして新入生に声をかけまわりますが、各チーム手段は色々。喋りまくって相手に話す間も与えず納得させてしまうパターン、だまし専門の大ボラ吹き、おどし、ビビらせて無理やり入れてしまうヤクザ集団、泣きおどして迫る者、おごり倒す者……、とにかくこのような先輩達の勧誘に負けて?、入部した者は30人と近來まれにみる大成功と終わりました。中味は、と言うと、いやはや何と言っているのかとにかくすごい個性派揃い。彼らがこれからのグリーの中心になるかと思ったら、たのもしいやら不安やら、笑わずにはおられません。ハッハッハ……!

◆春合宿

毎年、春合宿の合宿場所を何処にするかで、外政は相当苦勞なさいているようでありました。昨年は、食べ物が貧弱なため、全部員から、「ノーモア小豆島」と総スカンをくらったの



(祇園祭り)

でした。その苦い経験を生かし、今年の春合宿は全部員の期待にそうべく知恵を絞られたのでした。

今年は空気のうまいハチ高原と決まり、いざ集ってみると、何とスキー場のまった中のスキーロッジ! 茫然と立ち尽くす全部員の目前をスキーガールがシブール残して去っていく…。おまけに福永先生のいらっしゃる前日は猛吹雪。翌朝から必死の除雪作業が行われ、先生のお車は予定どおり着かれました。その後も寒さは衰えず、夜中に暖房がきれるし、もうこれで食事が悪かったら外政Y氏は生きて合宿所を出る事が出来なかったでしょう。そんな中でも福永先生のウィットあふれる練習によって曲は順調に仕上がりました。追伸=頼むからもう吹雪の中での合宿は止めて! なあ業師神。

◆六連運動会

5月5日快晴。今年は大阪城公園で行われた。応援女子大には相愛女子大学合唱部の皆さん。昨年、今年と合ハイが少なかつただけに一層燃えるグリーメン。昼食を楽しく彼らと食べ、楽しく応援し、楽しく友達になつたのであった(とはいえ、一部は終始目立たぬまま売店でパンを買ってぼやいていたが……。競技の方は例によって例の如く、常にマイペースというか、全然目立たないというか、そんな調子で、騎馬戦に至っては始めから終りまで何もせずに端に隠れていたなりんかして、結局総合5位。本当にぼんぼんが多いのか怠慢なのか、運動会はいつも下位で頑張るグリーメン。しかし女子大の方とはグリーメンの本領を發揮して仲良くなったカップルもあった……。らしい(その中で、3年M氏のカップルは夏の演奏旅行前の一方向的にふられたそうである)。とにかく春の一日、関西六大学としての結束を固め、また良きライバルとしての意識を高めさせられた有意義な日であった。

◆東西四大学合唱演奏会

早慶同関の4つの男声合唱団で構成され、「四連」という名で親しまれるこの演奏会は日本におけるアマチュア合唱界最大のイベントの一つであると自負しています。各団がより高度な演奏を求め、強いライバル意識を燃やし、個性をぶつけあう場でもあります。

今年は記念すべき30回を迎え、我々は関学グリーとともに東京へ乗り込みました。2、3、4回生の精鋭メンバーで臨んだステージは、「チャイコフスキー歌曲集」大物ぶりを發揮し、リハーサルで緊張感を欠いた我々は、福永、大久保両先生の御言葉で立ち直り、本番では聴衆を魅了する名演奏。他3団にくらべ人数での劣勢をもとめせず、「本番に強い同志社グリー」の神話はくずれなかった。東京を充実感で一杯のうちに去り、京都に舞い戻った我々を待っていたものは1通のラブレター。我々の名演奏に対する熱いメッセージに感激。しかし、他団にも同じく舞い込んだと知ってがっかり。次回は関西に舞台を移して行われます。どう御期待!

◆夏合宿

今年度の夏合宿は、例年どおり9月初旬に信州・野尻湖で行なわれた。再び福永先生をお迎えして、定演に向かって第1歩をふみだ

したのである。今回は去年同様天候に恵まれず、恒例のパート対抗ボートレースはできなかったが、福永先生を囲んでの問一答会が練習の合間に行なわれ、非常に意義のある一時を持つことができた。ところで夏合宿の最大のイベントといえば、1回生が晴れてグリーメンの一員となるための最大の難関である洗礼式、そしてそのあとに2回生がさらし物となる演芸大会である。特に今回の演芸大会は、2回生が6月の四連のころから、歌そっちのけで準備してきてただけであって、なかなか好評であった。特に呼び物の女装では、長い間の禁欲生活がたたったのか、3・4回生の欲望に火をつけてしまったようで、その夜は女装の2回生がかなり再起不能にされたようである。何はともあれ、よかったよかった。

◆ミス・ユニバース

3月18日、この日は私達グリーメンにとって忘れ得ぬ日となった。という賢明な皆様は、思い出されたかしれない。そうです。「ミス・ユニバース」なのです。テレビ出演なのです。全国ネットなのです。以下はそれにつつまれるエピソードである。

その1。私が楽屋から出て、外の空気を吸いに行った時だった。かわいいギャルが2名ほど、「あの～、同志社グリークラブの方ですか。」見ると手には色紙をもっている。「うん。そうだよ。」と口をつけたまではよかった。「あの～、トシちゃん(田原俊彦)のサインもらってきてくれませんか。」「あつ、そう。」

その2。ミス・ユニバースはそばで見るより、テレビで見る方が正解である。

その3。田原俊彦は、リハーサル中でもいかなる時も、万事あの調子である。

その4。あのエスコートをしたグリーメンは、決して顔で選んだわけではない。そこを誤解しないでいただきたい。あれはただ、身長が175cm以上あったという単なる理由によるだけである。そのため、全国の視聴者の皆様に御迷惑をおかけした点は、この場をかりておわびいたします。

その5。あのアメリカ人のミス・ユニバースの身体にさわったのは、私だけである。

その6。司会者の宝田明は、舞台のそででかくれて鼻そそほじっていた。

その7。エスコートをしたユニバースたちと、グリーメンが今も電話をかけたなり、文通をしたりつきあっている、ということは一切ない。(by Okada)

◆合ハイ

今年もどういわけか合ハイが少なかつた。10月4日、快晴のエキスポランドで神戸海星女子大学グリークラブのお情けをもち、唯一の合ハイが行なわれた。男声合唱団である私達にとって、合ハイは絶対不可欠なものであり、当然クラブよりも大事であり、この日だけは先輩後輩の関係も有名無実化し、誰も自分だけが陽の目を見ることを願っている時である。したがって当然そこには、血で血を洗う凄絶な闘いがくり広げられる。今回も例外ではなかつた。口を切って血を流しながらもエールを歌った某2回生、ひざを打って必死で痛みをこらえていた某2回生、めがねをこわしながらも女の子の手前泣くに泣けない某2回生、等々話題には事欠かなくつた。しかし、すべて2回生が関係しているという批判



(演奏旅行 一長崎にて一)



(演奏旅行 一ニ谷英明氏来たる一)

については私としても弁解の余地もなく情けないがぎりである。今後の対策として、私は、2回生は合ハイにはつれていけないという結論に達せざるを得ない。(2回生某マネージャー)

◆演奏旅行

今回の演奏旅行は、8月1日～8日まで、九州の4カ所(小倉、福岡、長崎、熊本)で行なわれた。順を追ってふりかえって見ると、まず1日は小倉。前日にレコーディングがあり、1日で組曲を2つもレコーディングしたあと、翌朝、新幹線で小倉へ移動、即演奏会というハードな日程であったが、みんな疲れを見せず素晴らしい演奏会を開くことができた。次は3日の福岡。ここでは、西南学院グリーの御好意で交歓演奏会という形で行なうことができた。それに両グリーの共通の師である福永先生に合同演奏を指揮していただいたことも幸いであった。また2日、3日と西南グリーの人たちの家に分宿させてもらったことは、よい思い出となった。その後4日の長崎7日の熊本と続いたのであったが、熊本では俳優でありまた同志社大学のOBである二谷英明氏が、演奏会のあと私達の宿舎に訪れてくださり、酒をまじえ、二谷さんがおもしろい話を聞かせて下さり、また共にカレッジソングを歌われたりもした。間近で見たロマンスグリーの二谷さんの姿は、今もはっきりと目にやきついている。こうして数々の思い出をつくって今回の演奏旅行も無事に終えることができた。これも各地で私達のために世話して下さいました、OBの方々、県人会の皆様のおかげで、ほんとうにありがとうございました。

◆全同志社メサイア演奏会

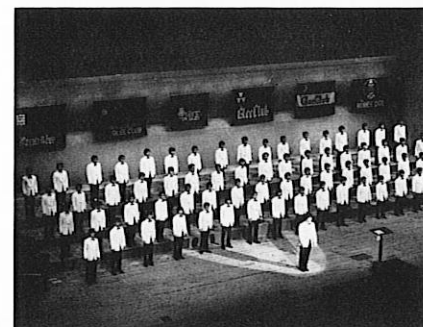
全同志社メサイアは、1965年12月復活メサイアとして第1回演奏会を行なって以来、昨年12月23日で17回目を迎えました。この演奏会は同志社交響楽団、同志社メサイア女声合唱団、同志社グリークラブ、並びに一般公募によって行なわれます。それぞれ別の演奏活動をしている3団体が一堂に集まって1つの演奏会を行なうところに大きな意義があります。

昨年の指揮者はデビット・ラーソン氏。さすがは外人さんだけあって、発音練習をピシシやりました。演奏も原点に戻るといふ先生の姿勢で、メサイアに対する考えにまた新たなものを加えました。

京都において全同志社メサイアは、名実ともに年中行事の一つとして好評を得つづけています。これからも絶えることなく続けていくことが我々の役目と思っています。



(夏合宿)



(関西六大学合唱演奏会)



(出店にて 一12月一)



(全同志社メサイア演奏会)

恒例のヒットプラン

期間 昭和57年2月末日

ご宴会 パック

味の良さ、豪華な雰囲気は、サスガ祇園ホテル、と毎年大好評！
演歌や軍歌もとび出して、おいしく、たのしく、賑やかに…
幹事サンのハナが高くなる、祇園ホテルの「宴会パック」
忘・新年会にご利用ください。

¥5,000 コース(税・サ込)

●ブッフェメニュー

各種取合オードブル・鮭の冷製 ロシャンサラダ添・鮮魚の天ぷら
ハムの詰めもの・クレオール風・鮮魚のコーカサス風・ミックス
ミートのパーベキュー・ロースポーク アップルソース添・シチュ
ーポーク スペイン風・チキン揚げ日本風・マトンの巻き揚げ中国
風ロールキャベツ・スパゲッティ シボラター風・季節のサラダ・
サンドウィッチ・のり巻き・おでん(屋台)

●鍋ものメニュー

鍋料理・突出し1品・香の物・水もの・ご飯(肉類)ビーフ・ポー
ク・チキン・エビ・さくら(野菜類)白菜・玉ねぎ・白ねぎ・もや
し・菊菜・生椎茸・餅

- カラオケセット無料サービス
- 幹事様(1名)無料ご招待
- 宿泊券(3割引)プレゼント(全員)
- オールドプレゼント
(30名様以上1本・50名様以上2本)

※各コースともお飲物はお1人様につきビール(大1本)、日本
酒(180ml2本)、ジュース(2本)のいずれかが付いています。
いずれの特典もご予約が20名様以上の場合です。
●20名様以下のご予約も承ります。ご予算などお気軽にご相談
ください。

¥6,000 コース(税・サ込)

●ブッフェメニュー

各種取合オードブル・ポタージュスープ・海の幸のサラダ(海老
・たこ・鮭・アサリ)・鮭のカラ揚げマリネ・ロシア風・ハムとアス
パラガスロール・牛背肉のロース 西洋わさび添・仔牛のシチュ
ー・ロールポーク アップルソース添・フライドチキン ローマ風・
メキシカンサラダ・細巻き・パスタロールのグラタン・やきとり
・サンドウィッチ・フルーツ・そば(屋台)・おでん(屋台)

「京のこころにふれる」
京都 祇園ホテル

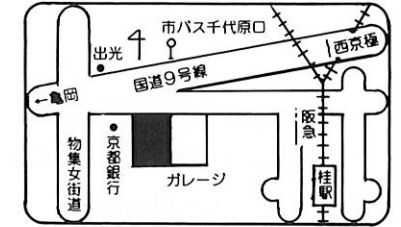
京都・祇園石段下 電話(075)551-2111代

お問い合わせ・ご予約は ☎(075)551-2111代 内線107・108(宴会係)

楽器・楽譜のご用命は

株式会社 **池本楽器**

SOUND SPOT



〒615 京都市西京区桂千代原町55

075(391)2111(代)

osaka photo

(株)大阪フォト サービス カンパニー

〒550 大阪市西区江之子島1丁目5-17
TEL 06(443)7608(代表)

河原町御池角のイタリアの味

喫茶・お食事
リストランテ
ピアンカ

京都ホテル地階1階

スパゲッティやピザな
どを中心にした、本場
イタリアの味を是非一
度お試し下さい。

喫茶も兼ねて営業いたし
ておりますのでお気軽に
ご利用ください。

営業時間

10:00 a. m. ~ 9:00 p. m.



メニューの一例

- スパゲッティ バジリコ ¥700
- スパゲッティ ボンゴレ ¥900
- カッペリーニスピナーチ ¥900
- ラザーニャグラタン
ポロネーゼ ¥1,000
- フェットチーネミラネーゼ ¥900
- ピッツアパイ
ピアンカ特製 ¥700
- エスプレッソコーヒー ¥300
- カプチーノコーヒー ¥400

京都ホテル

京都市中京区河原町御池 TEL(075)211-5111
ご予約・お問い合わせ「ピアンカ」(内線2232)

ひとつの製品を完成させるにあたり、各分野の専門スタッフが、全力を
傾注しています。正確に、スピーディに、しかも、密度の高いものを目
指し、ひとつの輪は、今日も明日もたゆまず動きつづけます。

★

★

いま、何かをお求めなら

グリーンメンと共に歩む

★

★

印刷を通じて気さくなおつきあい

中央印刷株式会社

- 本社 ☎593 堺市鳳東町5丁487-56 TEL.0722(73)1151(代)
- 大阪営業所 ☎542 大阪市南区谷町6丁目40-1 TEL.06(763)2632(代)

この一年のあゆみ

1980年12月8日	第76回定期演奏会	京都会館第1ホール
12月23日	第16回全同志社メサイア演奏会	京都会館第1ホール
1981年2月14日	第76回卒業生のためのフェアウェルコンサート	大谷ホール
3月17・18日	テレビ出演(ミス・ユニバース日本大会)	ABCホール
3月20・21日	同志社大学卒業式参列	同志社栄光館
3月26日~31日	春合宿	ハチ高原
4月25日	対面式	京都教会
5月5日	関西六大学合唱連盟運動会	大阪城公園
5月24日	第18回京都合唱祭	京都会館第1ホール
6月2日	県連フェスティバル	京都会館第2ホール
6月7日	第9回同志社グリークラブ、関西学院グリークラブ交歓演奏会	大阪フェスティバルホール
6月20日	第30回東西四大学合唱演奏会	東京厚生年金会館大ホール
6月21日	第30回東西四大学合唱演奏会	東京文化会館大ホール
7月31日	レコーディング	池田アゼリアホール
8月1日	小倉演奏会	小倉市民会館
3日	福岡演奏会(夏季演奏旅行)	福岡電気ホール
4日	長崎演奏会	NBCビデオホール
7日	熊本演奏会	鶴屋ホール
9月1日~6日	夏合宿	信州・野尻湖
14日	レコーディング	池田アゼリアホール
26日	メサイア結団式	同志社新町別館
10月4日	神戸海星女学院グリークラブと合ハイ	エキスポランド
17日	神戸女学院大学コーラス部と合コン	梅田
11月3日	第8回関西六大学合唱演奏会	大阪フェスティバルホール
22日	OB会5周年記念演奏会に出演	京都勤労会館
12月23日	第17回全同志社メサイア演奏会	京都会館第1ホール
1982年1月23日	第77回定期演奏会	京都会館第1ホール
2月20日	第77回卒業生のためのフェアウェルコンサート	同志社大学学生会館

同志社グリークラブ 第77回卒業生のためのフェアウェルコンサート

〈賛助出演〉
同志社クロージャークラブ

1982・2・20(土) 5:30PM 開演
同志社大学学生会館 (入場無料)

御挨拶

本日はお忙しいところ、私達同志社グリークラブの第77回定期演奏会にお越し下さいまして誠にありがとうございました。

さて私達同志社グリークラブは今年で77周年目を迎えます。四分の三世紀にも及ぶ歴史も、一年ごとの努力によって積み重ねられて来たものであることを考えると、今宵もこの演奏会が新たな一頁としてふさわしいものになることを期待してやみません。

75名の部員の一人一人が考え、努力し、その上にクラブ全体としてまとまって創り上げた音楽、そこにはより高い音楽を求めるといふ情熱がなければなりません。忙しさの中で、ともすれば消えてしまいそうになる情熱を、私達は決して見失ってはならないのです。自然と湧き出てくる情熱と自らを奮い立たせて起こす情熱を持って、私達は今宵のステージを創ります。演奏をお聞きの皆様に、この情熱を感じとって頂ければ幸いです。

最後になりましたが、未熟な私達を熱心に御指導下さった諸先生方、OBの方々、この演奏会を開催するにあたって御協力を頂きました関係各位に、心から感謝申し上げます。御挨拶とさせていただきます。

部員一同

メンバー紹介

名譽顧問	片桐 哲	幹事	長 佐藤 隆弘	資料・OB担当	鋒山 琢磨
顧問	遠藤 彰	外 政	高沢 隆司	文連常任	橋本 裕和
技術顧問	福永陽一郎		武田 祥和	メサイア実行	加古 立史
指揮者	富岡 健		薬師神重司	サブ	長谷川恵一
ヴォイストレーナー	大久保昭男	サブ	岡田 和弘		齋藤 睦彦
			小田 尚紀	学生指揮者	芦田 直幸
			豊田 尚紀	学生副指揮者	楠 敏也
		内 政	松井 謙之	Top Part Leader	木谷 誠
		会 計	栗原 毅	サブ	畠中達哉
		サブ	飯田 勝美	Second Part Leader	吉田宜生
			里内 知巳	サブ	木村計司
		演奏旅行	池田 英生	Bariton Part Leader	北尾俊明
		サブ	仲 貴司	サブ	土佐易弘
		ステージ	小田垣正美	Bass Part Leader	筒井隆文
		サブ	吉田 進次	サブ	佐藤 敏
		資料・OB担当	前田 洋孝		

TOP TENOR

木谷 誠(神4)延岡西
宮島 寿(商4)須坂
小野 誉文(経4)芳泉
畠中 達哉(法3)上宮
加古 立史(文3)宝塚
栗原 毅(商3)天王寺
楠 敏也(法3)同志社
村上 能彦(法2)今治西
西山 勲(経2)春日丘
齋藤 睦彦(神2)福島
鈴木 典夫(文2)福島
豊田 尚紀(経2)郡山
梶原 昌彦(法1)清々堂
河村 一良(商1)福岡
宮井 健(工1)雲雀丘
森 知史(工1)北野
中小路智一(法1)大教大付
佐々木 涉(経1)高松西
山中 光(商1)高陽

SECOND TENOR

東原 幸生(商4)函館ラ・サール
井ノ口光章(法4)門司
吉田 宜生(法4)同志社香里
池田 英生(経3)堀川
木村 計司(文3)桂
松井 謙之(法3)清風
田中 哲夫(文3)三条
上田 慎一(工3)鳳
清端 利文(文2)同志社香里
諸江 修(文2)高崎
餅 一隆(商2)三本松
須藤 彰治(商2)同志社香里
吉田 進次(商2)住吉
日比 敏也(経1)大府
篠原芳兵衛(商1)大和川
辻 透(商1)洛北
吉田 昌弘(商1)清風

BARITON

芦田 直幸(法4)同志社香里
北尾 俊明(経4)同志社
大北 稔(法4)明星
小田垣正美(商3)生野
佐藤 隆弘(経3)生野
武田 祥和(文3)巻
土佐 易弘(経3)清風
藤井 啓三(商2)修道
長谷川恵一(経2)五条
仲 貴司(商2)宝塚
小田 尚紀(経2)清風
豊山 行純(経2)阿倍野
山岡 敬(法2)城東
伊勢三十六(文1)篠山鳳鳴
大嶋 誠司(商1)小倉
渡辺 直樹(商1)熊本
山内 豊(商1)桜塚

BASS

筒井 隆文(経4)同志社香里
前田 洋孝(商3)小山台
佐藤 敏(経3)滝川
里内 知巳(文3)膳所
高沢 隆司(文3)桜塚
薬師神重司(経3)八幡浜
馬場 基尚(法2)高松第一
藤本 和久(工2)奈良
橋本 裕和(経2)同志社
鋒山 琢磨(文2)同志社香里
飯田 勝美(法2)敬傍
松本 良太(法2)同志社
岡田 和弘(文2)三木
片岡 和彦(経1)小倉
久保田哲哉(工1)三池
中西 雅樹(経1)泉北
中田 克之(法1)交野
西尾 強志(文1)上宮
白井 幸彦(法1)福岡
高橋 圭二(法1)丸亀
田中光太郎(経1)佐賀西
和田 秀樹(経1)益田

ステージの出来映えを変えるコート

本日のステージコート
作成の店

司屋株式会社

大阪マーチャングイズマート11階
TEL 06 (943) 3100

名物 お茶漬 しゃぶしゃぶ

十兵衛家

祇園花見小路

◎宴会 コンパ大集合 予約電話 223-2111

貸切予約制

※カラオケコンパホール……60名様まで
※本格派お座敷コンパ……35名様まで
河原町で唯一の洋風コンパホールはひと味ちがったコンパを
味わっていただけます。

エレクトーン・ステレオその他カラオケ設備完備
大学コンパ、クラス会、各種会議・説明会その他
にプライベートなディスコパーティー、レコード、
映画鑑賞会など多目的にご利用下さい。

メニュー一例

瓶ビール(中) 350円
生ビール(大) 530円
黄桜一級 250円
やきとり3本 200円
将軍焼 350円
むしどり 350円
揚げとうふ 250円
からあげ 380円

※ウイスキー飲み放題お一人様700円でOK!

内容で勝負 鍋料理メニュー

チャンコなべ(一品付) 2,000円
寄せなべ(〆) 2,800円
水だし(〆) 1,800円
すきやき(〆) 2,500円
かにちり(〆) 2,800円

(単品メニューは鳥将軍と同じ)

鳥将軍 やきとり

京・中京区河原町三条上ル一筋目東入ル
エアポート1F 予約電話 223-2111(代)

グリークラブ・アルバム



●TA-72074 ¥2,300
1月21日発売

V

- フィンランディア
- やまびこ
- いとしのマドンナ
- アヴェ・マリア(アルカデルト)
- 聖史曲 op.54 No.5
- 剣と竖琴
- 冬のセレナーデ
- Holly Night
- 指揮/福永陽一郎, 北村協一
- 合唱/関西学院グリークラブ, 慶應義塾ワグネル・ソサイエティー
男声合唱団, 同志社グリークラブ, 早稲田大学グリークラブ
(50音順)



●TA-72075 ¥2,300
1月21日発売

VI

- Swing Low Sweet Chariot
- Set down servant
- I've got Six Pence
- Homeward Bound
- Erie Canal
- Rolling Home
- 斎太郎節
- 島原の子守唄
- 指揮/福永陽一郎, 北村協一
- 合唱/関西学院グリークラブ, 慶應義塾ワグネル・ソサイエティー
男声合唱団, 同志社グリークラブ, 早稲田大学グリークラブ
(50音順)

I からの花/婆やお家/遙かな友に/水夫のセレナーデ/権兵衛が種まく/家路/他全22曲 ●TA-60050 ¥2,000

II キリエ・エレイソン(デュオウバ)/菩提樹/ローレイ/別れ/自由の歌/スティール・アウェイ/他全24曲 ●TA-60051 ¥2,000

III 最上川舟唄/ソーラン節/出船/おてもやん/夕やけこやけ/雪の降る街を/螢の光/他全17曲 ●TA-60088 ¥2,000

IV 年の別れ/遠くへ行きたい/雨/君といつまでも/オレグ公の歌/希望の島/森の歌/他全18曲 ●TA-60089 ¥2,000

●指揮/福永陽一郎, 北村協一
●合唱/関西学院グリークラブ, 慶應義塾ワグネル・ソサイエティー男声合唱団, 上智大学グリークラブ, 同志社グリークラブ, 立教大学グリークラブ, 早稲田大学グリークラブ
(50音順)

現代合唱曲シリーズ

各 ¥2,300



【月光とピエロ】堀口大学の詩による作品集 ●TA-72068 ¥2,300

- 男声合唱組曲「月光とピエロ」(清水 脩)
月夜/秋のピエロ/ピエロの嘆き/月光とピエロとピエレットの唐草模様
- 男声合唱組曲「ヴェネチス生誕」(大中 恩)
手風琴/手風琴又/ヴェネチス生誕/乳房/タンテルの渚
- 「月下の一群」-フランスの詩による男声合唱組曲集-(南 弘明)
小曲(フィリップス・シャヴァネックス)/輪踊り(ポール・フォーレ)/人の云ふことを信じるな(フランシス・ジャム)/海よく催眠歌(アンドレス・ビール)/秋の歌(ポール・ヴェルレーヌ)
- 指揮/北村協一, 福永陽一郎
- ピアノ/久遠之宜
- 合唱/関西学院グリークラブ, 東海メールクワイアー, 早稲田大学グリークラブ

■高田三郎作品集(混声合唱組曲) ●TA-72054
水のいのち/心の四季
「水のいのち」「心の四季」
●指揮/福永陽一郎 ●ピアノ/三浦洋一 ●合唱/日本アカデミー合唱団

■高田三郎作品集(女声合唱組曲) ●TA-72055
水のいのち/心の四季
「水のいのち」「清水」「心の四季」
●指揮/木下 保 ●ピアノ/木下歌子 ●合唱/日本女子大学合唱団, 聖心女子大学グリークラブ

■清水 脩 作品集(男声合唱組曲) ●TA-72056
月光とピエロ
「月光とピエロ」/菅野天子-「青い照明」より/朝太郎の四つの詩/他
●指揮/福永陽一郎 ●合唱/日本アカデミー合唱団

■清水 脩 作品集
合唱組曲「山に祈る」(混声合唱組曲) 智恵子抄-或る夜のころころ/
智恵子抄-巻末のうた六首(男声合唱組曲) ●TA-72057
●指揮/清水脩 ●ピアノ/三浦洋一 ●合唱/二期会合唱団 ●朗読/加藤道子
●演奏/東京フィルハーモニー・東京リダー・ターフェル

■團 伊玖磨作品集(混声合唱組曲) ●TA-72058
岬の墓
「岬の墓」「つゆの砦」/「筑後川」
●指揮/福永陽一郎 ●ピアノ/三浦洋一 ●合唱/日本アカデミー合唱団

■佐藤 真・福井文彦作品集(混声合唱組曲) ●TA-72059
蔵王
「蔵王」「空・道・河」「動物園」
●指揮/福永陽一郎 ●ピアノ/三浦洋一 ●合唱/日本アカデミー合唱団

■萩原英彦作品集(混声合唱組曲) ●TA-72060
光る砂漠
●指揮/福永陽一郎 ●ピアノ/三浦洋一 ●合唱/合唱団京都エコー

■中田喜直作品集(女声合唱のための組曲) ●TA-72061
美しい訣れの朝
●指揮/福永陽一郎 ●ピアノ/三浦洋一 ●合唱/中国短期大学フラウエン・コール

■中田喜直・大中 恩 作品集(混声合唱組曲) ●TA-72062
海の構図/風のうた
●指揮/福永陽一郎 ●ピアノ/三浦洋一 ●合唱/合唱団京都エコー

■広瀬量平作品集(混声合唱組曲) ●TA-72063
海の詩/海鳥の詩
海の詩/海鳥の詩
●監修/広瀬量平 ●指揮/小林光雄, 石橋義也 ●ピアノ/小川やえこ
●合唱/杉並混声合唱団

素晴しい音とハーモニーの東芝合唱シリーズ



TOSHIBA EMI